

みずいろ通信

Vol.5

2020年
7月発行



みなさん、こんにちは。

日常を取り戻しつつありますが、油断の出来ない日が続きそうですね。ジメジメと暑くなる日も多く、体調管理が難しくなってきました。

子どもたちの生活にも新型コロナウイルスによる影響があり、夏1番の楽しみであるプールや海水浴も今年は中止。我慢の夏となりそうです。

里親家庭においても、自粛中の生活は大変だったのではないかと心配しています。私たち里親支援専門相談員(4S)も、里親家庭への訪問を早く再開できるようにと願っています。

さて、今回は【里親登録前研修】について詳しくお伝えしました。今回は昨年11月に開催した【週末里親交流会(Vol.2参照)での質問】の紹介と【週末里親制度を利用しているK君の自粛中の様子】、そしてやっと再開できた【里親相談会の様子】を紹介します。

週末里親Q&A

そうかもしれませんし、違う理由があるのかもしれません。原因を探すよりも、子どもがおねしょをした時に怒る等せず「着替えてさっぱりしようね」等の声掛けや寝る前の水分を控える等の工夫を試してみてください。気長に見守って頂けたらと思います。

おねしょが治らないのは、お母さんに会えていないことが関係していますか？

白ご飯ばかり食べ、おかずを食べないから心配です。

「好き嫌いを言っても大丈夫」という安心感があるのかもしれません。おかずを細かく刻む、身体をたくさん動かしてお腹を空かす等の工夫と併せて、「美味しいね」「もう少し甘い方が好き？」等、食事の時間が楽しくなる会話も大切です。

自粛中：K君の様子から

●エピソード

施設で暮らす1年生のK君は、週末里親制度を利用して1年になります。初めての顔合わせの時には机の下に隠れてしまうほどの恥ずかしがり屋。少しずつお話が出来るようになり、お散歩などを重ねて、一緒にお出かけができるように。月2回の交流を重ね、K君の心も安定していきました。

これからもこの時間を大切にしたい…そう思っていたのですが、この春から外出自粛となり、K君と週末里親(週里)さんが会えなくなってから、4か月ほど経ちました。

初めは我慢していたK君も、最近は「おばちゃんのとこ、もう行ける?」「お姉ちゃんに早く会いたいねん」と言うように。面会が出来ないため、電話をすることになったのですが…『K君、元気だった?』と聞かれても、名前を呼ばれてもK君は返事をせず、話すことが出来ませんでした。「なんかな、でんわやったら、はずかしいねん」電話を切ったあと、K君は少し照れたような表情で言いました。

●このことから

電話は顔が見えないこともあり、話すタイミングの難しさ、何と言えばいいか分からない等があったようですが、とにかく「早く会いたい!」と訴えるK君。

おとなは、この1年の間に、K君の週里さんへの気持ちが強くなっていること、週里さんとの時間が大切なものになっていることを、改めて実感しました。

そしてK君がそこまで「会いたい」と思える人に出会えたことが嬉しく、ほっこりしました。

K君、早く会えるといいね!



里親相談会が開催されました☆

@イオン喜連瓜破店(6/2(火) 17:00-19:00)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3ヵ月ほど中止が続いていましたが…。

マスク着用、手指の消毒、相談終了毎に机と椅子を消毒。更に相談を受ける際はフェイスシールドを着用し、感染対策を徹底した上で実施しました。



万全の対策で
臨みました☆



緊急事態宣言の解除からまだ日が浅いこともあり、『1人でも来て頂ければ嬉しい』との気持ちでしたが、なんと10組の方が相談に来て下さいました！

相談会に来て頂いた理由を
教えてください*



(コロナの)こんな時だからこそ、
里親が必要ではないかと思った

里親って必要と思う。
けれど制度が
よくわからないので、
直接話を聞きたかった



私に何が出来るか
わからないが
子どもたちの力に
なりたいと思った

…とのこと。嬉しいですね。

今後のイベント告知

【日時】令和2年7月18日(土) 10:30~12:30 / 14:00~16:00

【場所】イオンモール鶴見緑地店 4階トイザらス横

★「さとおやっとなあに??パネル展」同時開催★

申込不要

こんな質問がありました*



里親になるには資格が
必要ですか？

特別な資格は必要ありませんが、
養育里親、養子親の場合は
研修/実習を経て登録となります。

单身でもなれますか？

单身でも週末里親、
養育里親になれます。

若い実子の子育て中です。
夫が先に資格を取り、養育里親
をすることは可能ですか？



可能です。
しかし一緒に暮らす子どもが増えるということは、
実子さんにとっては大きな出来事となります。
子どもだから大丈夫だろう、と安易に考えずに
実子さんの気持ちや思いにも寄り添いながら
考えていくことが大切です。

みなさんが、親と暮らせない子どもたちに思いを寄せ、自分
に何が出来るのか、と真剣に考えているのが伝わってくる、貴重
な時間となりました。

来てくださった皆さま、本当にありがとうございました。

編集後記

少しずつ活動再開し、ワクワクしています。
コロナウイルス対策に熱中症対策、しっかりと気を付けながら
みなさんに里親に関する情報と元気をお届けしたいと思っています。

(高岡)